

第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）実施要綱

1 目的

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした障がい者スポーツの祭典である。

幸福度日本一といわれる福井県で開催する第18回全国障害者スポーツ大会では、「すべての人が支えあい スポーツのすばらしさを未来へつなげる」の基本方針の下、選手は持てる「力と技と美しさ」を存分に発揮し、県民は「する」「みる」「支える」のそれぞれの立場で参画し、互いに支え合いながら、心をひとつに織りなし大会を創りあげることにより、障がいのある人もない人も、スポーツのすばらしさや可能性を共有し、生涯にわたってスポーツを楽しむことができる、しあわせな未来へとつながる大会とする。

2 名称

第18回全国障害者スポーツ大会
（愛称「福井しあわせ元気大会」）

3 大会スローガン

「織りなそう 力と技と美しさ」

4 主催

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、文部科学省、福井県、福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、美浜町、社会福祉法人福井県社会福祉協議会、一般社団法人福井県身体障害者福祉連合会、福井県車椅子の会、特定非営利活動法人福井県手をつなぐ育成会、福井県精神保健福祉家族会連合会、福井県身体障害者（児）援護施設連絡協議会、福井県知的障害者福祉協会、福井県精神障害者福祉サービス事業所連絡協議会、しあわせ福井スポーツ協会、公益財団法人福井県スポーツ協会

5 競技運営主管団体

（1）正式競技

一般財団法人福井陸上競技協会、福井県水泳連盟、福井県アーチェリー協会、福井県卓球協会、福井県障害者フライングディスク協会、福井県ボウリング連盟、一般社団法人福井県バスケットボール協会、福井県ソフトボール協会、福井県バレーボール協会、一般社団法人福井県サッカー協会

（2）オープン競技

福井県車椅子テニス協会、福井県卓球バレー協会、一般社団法人福井県身体障害者福祉連合会

6 後援

厚生労働省、公益財団法人日本スポーツ協会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会、全国手をつなぐ育成会連合会、公益財団法人日本知的障害者福祉協会、公益社団法人日本精神保健福祉連盟、公益財団法人JKA、公益社団法人日本医師会

7 特別協賛

大同生命保険株式会社

8 協賛

(1) オフィシャルスポンサー

株式会社福井新聞社、福井テレビジョン放送株式会社、福井放送株式会社、福井県信用金庫協会、西日本電信電話株式会社福井支店、大和証券株式会社

(平成30年7月31日現在)

(2) オフィシャルサポーター

セーレン株式会社、株式会社福井銀行、アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社、株式会社アイビックス、株式会社アスピカ、株式会社エイチアンドエフ、エル・ローズグループ、株式会社オーイング、ONODANIグループ、合資会社加藤吉平商店、関西電力株式会社、清川メッキ工業株式会社、株式会社熊谷組北陸支店、小林化工株式会社、サカイオーベックス株式会社、株式会社シャルマン、信越化学工業株式会社武生工場、株式会社SHINDO、敦賀海陸運輸株式会社、轟産業株式会社、日華化学株式会社、株式会社日本ピーエス、株式会社ネスティ、一般社団法人福井県建設業協会、福井県JAグループ、福井県民生活協同組合、福井コンピュータグループ、フクイタテアミ・イーゲートグループ、福井鐵工グループ、福井鋳螺株式会社、フクビ化学工業株式会社、株式会社福邦銀行、株式会社PLANT、株式会社法美社、株式会社北陸銀行、北陸電力株式会社、前田工織株式会社、株式会社マルツ電波、三谷商事株式会社、三谷セキサン株式会社、ミツヤ・ニシヤマグループ、村田製作所グループ、株式会社UACJ、株式会社ヨコブリシ、株式会社イシワタ

(平成30年7月31日現在)

(3) オフィシャルサプライヤー

福井トヨタ自動車株式会社、福井トヨペット株式会社、トヨタカローラ福井株式会社、ネットトヨタ福井株式会社、公益社団法人福井県バス協会、社会福祉法人恩賜財団済生会支部福井県済生会、上屋敷工業株式会社、株式会社スズキ自販北陸、日本酪農協同株式会社北陸営業所、京福商事株式会社、株式会社西村プレシジョン、福井県織物工業組合、トータルネット株式会社、全国マツダ労働組合連合会、岩谷産業株式会社、公益社団法人日本フラワーデザイナー協会、株式会社城山、日本郵便株式会社、福井シード株式会社、公益財団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会福井県協会、カバヤ食品株式会社、株式会社ティーエムエー、シンティ警備株式会社、株式会社ハチバン、ヤマト運輸株式会社福井主管支店、アピタ福井大和田店

(平成30年7月31日現在)

(4) 大会協力企業

福井県内郵便局、国際ソロプチミスト福井、株式会社ルイ高、オリオン電機株式会社、農林中央金庫富山支店、株式会社ウィルパックニシヤマ、福井ジャムおじさんの会、福井ヤクルト販売株式会社、一般社団法人福井県トラック協会、若狭塗箸協同組合、学校法人福井仁愛学園、藤田製本印刷株式会社、北陸総合警備保障株式会社、株式会社サンモニター、一般社団法人福井県LPガス協会、ゼット株式会社、株式会社ホームセンターみつわ、株式会社栄太楼、株式会社甘泉堂、亀屋製菓株式会社、株式会社五月ヶ瀬、マエダセイカ株式会社、厚生会グループ、ハピリン、レングー労働組合

(平成30年7月31日現在)

9 協力企業・団体

福井大学、福井県立大学、敦賀市立看護大学、福井工業大学、仁愛大学、福井医療大学、仁愛女子短期大学、福井県立看護専門学校、公立若狭高等看護学院、大原スポーツ医療保育福祉専門学校、福井県医療福祉専門学校、若狭医療福祉専門学校、武生看護専門学校、福井市医師会看護専門学校、福井歯科専門学校、公益社団法人福井県理学療法士会、一般社団法人福井県作業療法士会、一般社団法人福井県鍼灸マッサージ師会、一般社団法人福井県鍼灸師会、社会福祉法人福井県視覚障害者福祉協会、公益社団法人福井県柔道整復師会、日進医療器株式会社、株式会社オーエックスエンジニアリング、一般社団法人日本義肢協会、一般社団法人福井県医師会、公益社団法人福井県看護協会

10 大会期間

平成30年10月13日（土）～15日（月）

ただし、車いすバスケットボール競技については、10月7日（日）および8日（月・祝）とする。

11 開・閉会式、実施競技の開催期日および会場

実施競技等		開催期日	会場名
開会式		10月13日（土）	9.98スタジアム（福井県営陸上競技場）
閉会式		10月15日（月）	9.98スタジアム（福井県営陸上競技場）
個人競技	陸上競技（身・知）	10月13日（土）～15日（月）	9.98スタジアム（福井県営陸上競技場）
	水泳（身・知）	10月13日（土）～15日（月）	敦賀市総合運動公園プール
	アーチェリー（身）	10月14日（日）	福井市スポーツ公園サッカー場（兼ラグビー場）
	卓球（身・知） 〔サウンドテーブルテニス（身）を含む。〕	10月13日（土）・14日（日）	サンドーム福井
	フライングディスク（身・知）	10月13日（土）～15日（月）	三国運動公園陸上競技場
	ボウリング（知）	10月13日（土）・14日（日）	スポーツプラザWAVE 40
団体競技	バスケットボール（知）	10月13日（土）・14日（日）	勝山市体育館「ジオアリーナ」
	車いすバスケットボール（身）	10月7日（日）・8日（月・祝）	福井県営体育館
	ソフトボール（知）	10月13日（土）～15日（月）	武生東運動公園ソフトボール場
	グラウンドソフトボール（身）	10月13日（土）～15日（月）	松岡総合運動公園（you meパーク）
	バレーボール（身）	10月13日（土）・14日（日）	大野市エキサイト広場総合体育施設体育館
	バレーボール（知）	10月13日（土）・14日（日）	トリムパークかなづ体育館

バレーボール（精）	10月13日（土）・ 14日（日）	小浜市民体育館
サッカー（知）	10月13日（土）～ 15日（月）	丸岡スポーツランドサッカー場、人工芝グラウンド
フットベースボール（知）	10月13日（土）～ 15日（月）	敦賀市きらめきスタジアム

（注）身＝身体障害者が出場できる競技
知＝知的障害者が出場できる競技
精＝精神障害者が出場できる競技

1.2 参加者および出場資格

- （1） 大会の参加者は、都道府県・指定都市選手団、大会役員および競技役員とする。
- （2） 出場選手は、次の全ての条件を満たす者とする。
 - ア 平成30年4月1日現在で13歳以上の身体障害者、知的障害者および精神障害者
 - イ 身体障害者は、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者
知的障害者は、厚生事務次官通知（昭和48年9月27日厚生省発児第156号）による療育手帳の交付を受けた者またはその取得の対象に準ずる障害のある者
精神障害者は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者またはその取得の対象に準ずる障害のある者
 - ウ 申し込み時に参加する都道府県・指定都市内に現住所（住民票のある地）を有する者。ただし、学校に通学している者および施設に入所・通所している者は、その所在地の都道府県・指定都市から参加できるものとする。
- （3） 団体競技に出場するチームは、次のとおりとする。
 - ア 福井県の代表チーム
 - イ 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会がブロック予選実施団体（日本車いすバスケットボール連盟、社会福祉法人日本盲人会連合、一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会、一般社団法人全日本知的障がい者スポーツ協会および公益社団法人日本精神保健福祉連盟精神障害者スポーツ推進委員会）と協議の上実施するブロック予選会によって優勝したチーム。ただし、優勝したチームが出場を辞退した場合、順次、順位の上位のチームに出場権が与えられるものとする。
 - ウ ブロック予選会の実施が困難な競技については、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会が選考したチーム

1.3 選手団予定人員

- （1） 選手 約3,500人
- （2） 役員 約2,000人

1.4 競技規則

適用する競技規則は、平成30年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定。以下「大会競技規則」という。）ならびに別に定める競技実施要項および競技別実施要領によるものとする。

15 競技・種目および障害・年齢区分

- (1) 競技・種目および障害区分は、〈別表1〉「全国障害者スポーツ大会競技・種目」のとおりとする。
- (2) 大会競技規則第2条3に定める年齢区分の基準日は、平成30年4月1日とする。

16 参加申込

- (1) 参加申込みは、1競技を選ぶものとし、実施種目が複数ある場合は、次のとおり選択して申し込むことができる。
 - ア 陸上競技および水泳は、リレー種目を除き第3希望までの種目を選択する。
なお、リレー種目はこれとは別に選択する。
 - イ フライングディスクは、2種目までを選択する。
 - ウ アーチェリーは、リカーブ部門またはコンパウンド部門のいずれかの部門で、50・30mラウンドまたは30mダブルラウンドの1種目を選択する。
- (2) 開催地主催者は、申し込まれた種目の中から出場種目を決定し、派遣者に通知する。

17 出場制限

- (1) 個人競技
 - 個人競技に出場する選手は、1競技のみに出場できるものとし、実施種目が複数ある競技については、次のとおりとする。
 - ア 陸上競技、水泳およびフライングディスクについては、原則として、同一競技内で2種目まで出場できるものとする。ただし、陸上競技および水泳において、リレー種目に出場する選手は、同一競技内で3種目まで出場できるものとする。
 - イ リレー種目に出場する選手団は、都道府県・指定都市別に、それぞれ1チームとする。
 - ウ アーチェリー、卓球（サウンドテーブルテニスを含む。）については、原則として、同一競技内で1種目のみに出場できるものとする。
- (2) 団体競技
 - 団体競技に出場する選手は、他の団体競技および個人競技には出場できない。

18 選手選考への配慮

都道府県・指定都市における出場選手の選考に当たっては、地域の障がい者スポーツの振興を図る観点から、全国障害者スポーツ大会出場未経験者の出場に配慮する。

19 全国代表者会議および監督会議

- (1) 期日
 - 平成30年10月12日（金）
ただし、アーチェリーの監督会議については10月13日（土）、車いすバスケットボールの監督会議については10月6日（土）とする。
- (2) 時間および会場
別に定める。

20 選手団の派遣および費用

- (1) 選手団は、都道府県・指定都市（以下「派遣者」という。）が派遣する。

- (2) 派遣者は、開催地主催者に対し、別に定める手続により、選手団および出場選手の競技・種目の申込みを行う。
- (3) 選手団の派遣に要する費用は、派遣者が負担する。

2.1 健康・安全管理

参加選手および役員の健康・安全面については、各選手団において十分配慮するものとし、主催者においては、応急の処置のみを行う。

2.2 宿泊

選手団の宿泊は、開催地主催者において確保し、宿泊料金等は別に定める。

2.3 オープン競技

オープン競技として、次のとおり実施する。なお、オープン競技の実施に関し必要な事項は別に定める。

実施競技	開催期日	会場名
車いすテニス（身）	10月6日（土）・ 7日（日）	鯖江広域西番スポーツセンターテ ニスコート
卓球バレー（身・知・精）	10月14日（日）	福井県社会福祉センター体育館
ゲートボール（身）	10月14日（日）	美浜町西郷健康ひろば屋内運動場

2.4 その他

この要綱に定めるもののほか、大会の実施に関して必要な事項は別に定める。